

サレ事ハナカラント豫想ナリ

新聞記者ニ對スル作美庶務課長ノ聲明書ニ對シテ宣傳局ニ一枚同封ス

又ハ新聞記者ニ對シテ作美庶務課長ノ聲明書ニ對シテ宣傳局ニ一枚同封ス

新聞記者ニ對シテ作美庶務課長ノ聲明書ニ對シテ宣傳局ニ一枚同封ス

新聞記者ニ對シテ作美庶務課長ノ聲明書ニ對シテ宣傳局ニ一枚同封ス

大野由井工務其録ナリ

常務庶務課長ニ對シテ一枚同封ス

大野由井工務其録ナリ

大正十一年四月十日

新聞記者ニ對シテ

四月十日新聞記者ノ問ニ應ジテ庶務課長ノ談

一、宣傳ビラ撒布ニ就テ

工廠ハ從來ヨリ思想上危險ダト考ヘルモノ又ハ工廠ノ安寧
靜謐ヲ害スルト思フ如キ種類ノモノニ對シテハ取締ヲシテ居
ルガ本日ノ宣傳ビラモ讀ニダトテ差支ナイト思フテ其終
ニシテ次第デアアル

ニ、提理以下ニ謝意ヲ表スル為末廠ニ就テ

新聞ニ依レハ提理以下ニ御禮ニ末ル如ク書レアルカ不信任
ヲ表スルモノトシテハ矛盾シテ事柄ノ様ニ思ハル然シ永年
勤績ノ人々故心カラ出テ謝意ナレハアナガチ拒絶スル譯

器材工場會員事事件當時同志ヲ防シ且砲兵工廠器材工場職長
見山天陰名スルトテ緊急勸告出テ商場ニ致シ可決ス